

祓川

祓川は^{くしだ がわ}櫛田川から分かれた河川です。全長は約 14km になり、そのうち 10km が明和町内を流れています。

祓川流域は自然の^{こがん}護岸が残され^{しっ ち}湿地となっており、平成 13 年(2001)に環境省が選定した「^{じゅうようしっ ち}重要湿地 500 選」に選ばれました。祓川には在来^{しゅう}のタナゴ類のほか在来の魚類や貝類が生息しており、種の多様性が高い水域となっています。河口付近になると^{あし}葦原が広がっており、モクズガニやカワウなどが生息する環境になっています。しかし現在では^{がいらいしゅ}外来種の増加によって希少な在来種が減少しつつあります。

現在は^{はらいがわ かんきょう び か すいしん い いん かい}祓川環境美化推進委員会により清掃活動や、小学生との水生生物調査が実施されています。祓川に残された自然を守り、残していく活動が進められています。

祓川は日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」に含まれる構成文化財となっており、自然の豊かさだけでなく、歴史的にも重要な川になります。



河口付近の葦原



中流域

